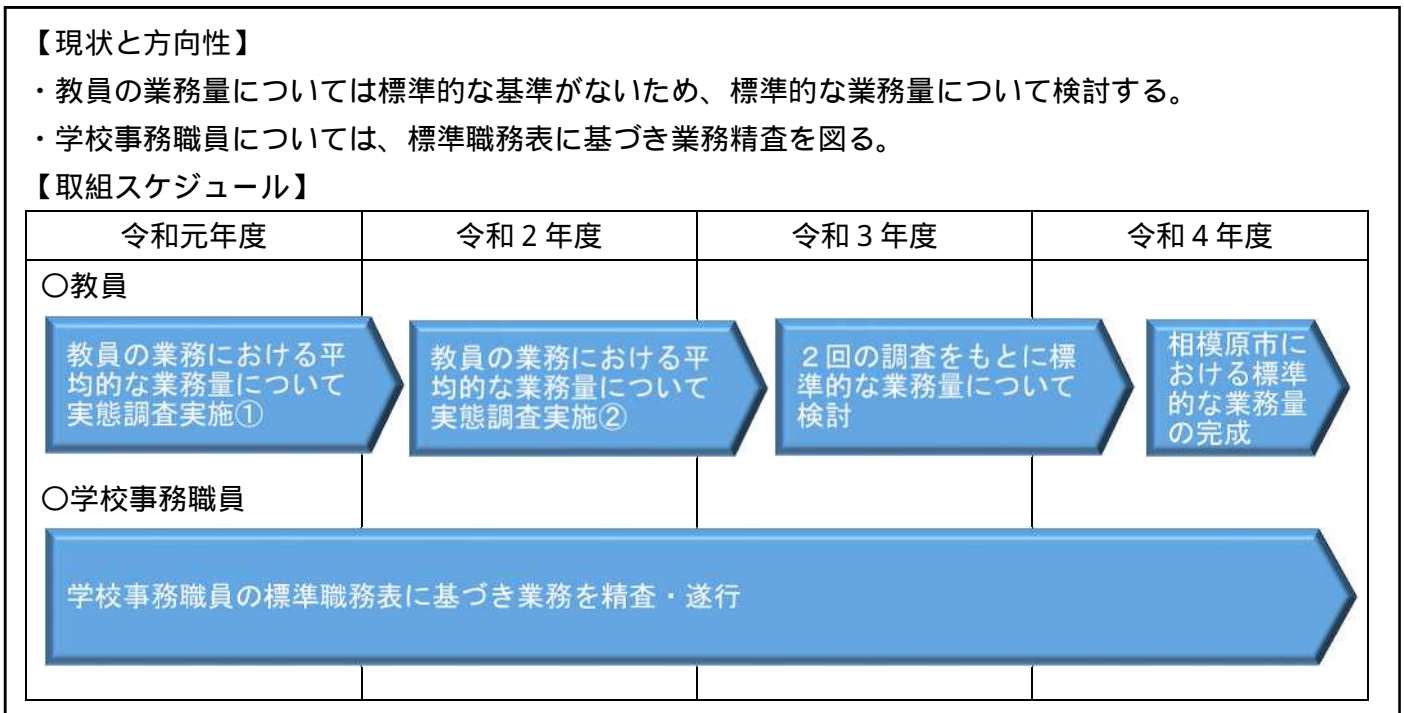


学校現場における業務改善に向けた取組方針  
取組事項実施スケジュール

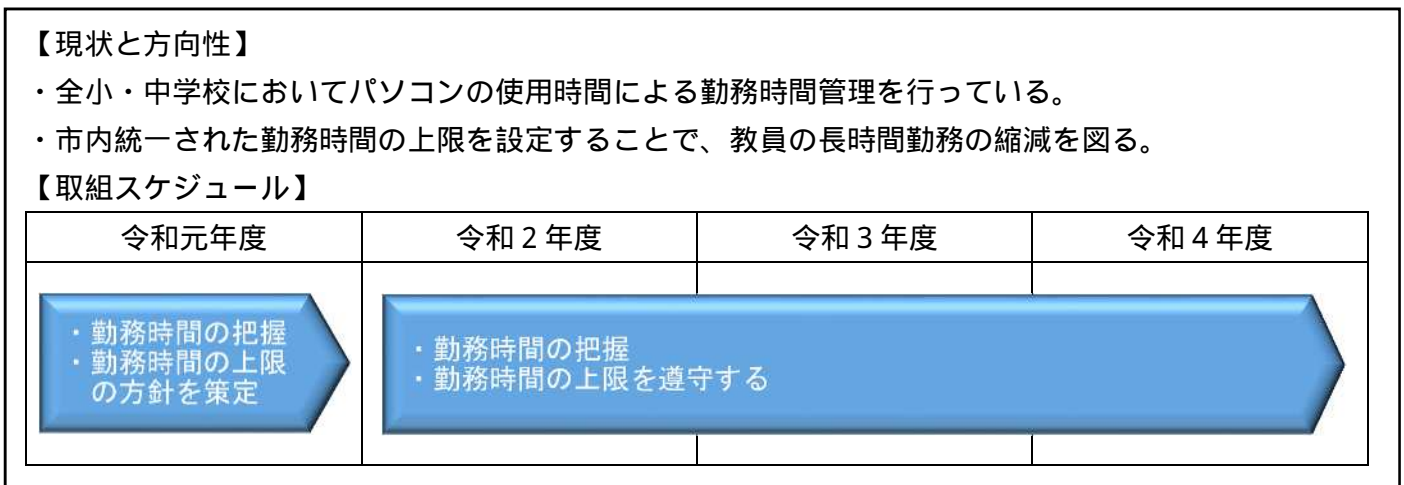
令和元年 10 月  
相模原市教育委員会

# 1 意識改革と学校運営マネジメントの強化

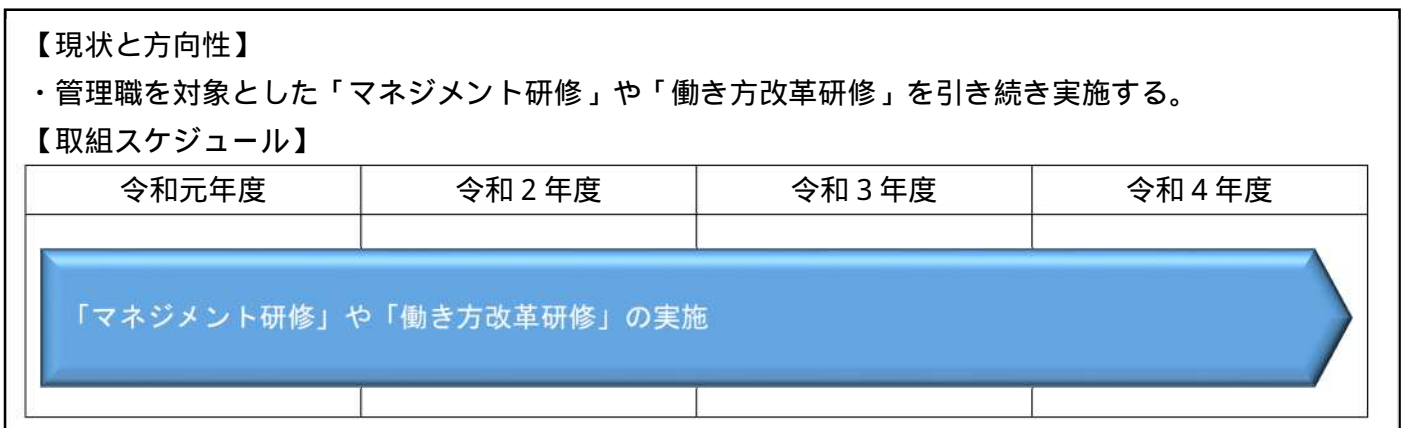
## 教職員の標準的な業務内容の検討・遂行（教）



## 教職員の勤務時間の管理と市内統一した教員の勤務時間の上限設定（教）



## 勤務時間を意識したマネジメントや働き方に関する研修の実施（教）



一定の期間、個別PCへポップアップ表示を行うことによる教職員の意識改革の推進（教）

【現状と方向性】

- ・学期末テストの直前になると教員の時間外勤務が多くなる傾向があることから、一定の期間において健康管理の啓発を行うメッセージを流し、健康に配慮した働き方を意識付けている。

【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|-------|
|  |       |       |       |

学校事務の望ましい在り方の検討（教）

【現状と方向性】

- ・学校事務職員が主体的に校務運営に参画し業務の適正化・効率化を進める役割を担えるように、職務分担について見直しを行う。

【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度  | 令和4年度 |
|---|---|--|-------|
|  |  |  |       |

学校と地域、保護者との連携による登下校等の課題解決に向けた体制の整備（教）

【現状と方向性】

- ・「相模原市通学路交通安全プログラム」に基づき、年間を通じて、学校、PTA及び地域が連携し、通学路の点検を行っている。通学路の課題について改善要望を教育委員会に提出するだけでなく、警察など関係機関と連携し、通学路の安全確保に取り組んでいる。また、各小学校の取組状況や課題を把握し、効果的かつ効率的な運用を実施する。
- ・小学校を中心としてPTAや地域で設立した「学校安全活動団体」に対し、助成金の交付や情報交換会・研修の開催による支援を行い、団体間の連携強化や活動の活性化に取り組んでいる。
- ・「学童通学安全指導員要綱」に基づき、交通安全指導及び防犯対策指導を行う学童通学安全指導員を配置し、児童の通学時の安全確保に取り組んでいる。

【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|-------|
|  |       |       |       |

### 地域・保護者への働き方改革の発信（教）

#### 【現状と方向性】

・地域・保護者の学校現場の働き方改革に対する理解が深まっていないため、地域・保護者に対して働き方改革に関する取組の周知・啓発を図る。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度       | 令和2年度                                | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------------|--------------------------------------|-------|-------|
| 周知の内容について検討 | 働き方改革に関する取組事例等を、原則、月1回教職員人事課からHPにて発信 |       |       |

### 学校の重点目標や経営方針への働き方改革の明文化（学）

#### 【現状と方向性】

・「学校現場の働き方改革」については、まず、学校現場が喫緊の課題という認識に立ち、教職員の働き方改革を進めていくため、令和2年度から全小・中学校の重点目標や経営方針に明文化する。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度                          | 令和2年度                       | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--------------------------------|-----------------------------|-------|-------|
| 令和2年度の重点目標や経営方針に「働き方改革」の明文化を決定 | 重点目標や経営方針に基づき、学校現場の働き方改革を推進 |       |       |

### 各小・中学校によるノー残業デーの設定（学）

#### 【現状と方向性】

・ノー残業デーを自主的に設定し、教職員の働き方改革を進めている小・中学校は増えてきているが、全小・中学校で実施されている訳ではない。学校の現状を踏まえ、令和2年度までには全小・中学校で実施することを目指す。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度                   | 令和2年度                | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------------------------|----------------------|-------|-------|
| 学校の現状を踏まえた、ノー残業デーの設定の検討 | 全小・中学校にてノー残業デーの設定と実施 |       |       |

## 2 学校における徴収金事務の改善

～ 学校徴収金の在り方について検討（教）

| <p><b>【現状と方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」等を参考に、学校徴収金の公会計化等適切な徴収方法について検討する。</li> </ul> <p><b>【取組スケジュール】</b></p> |   |                        |       |
|--|---|------------------------|-------|
| 令和元年度  | 令和2年度   | 令和3年度                  | 令和4年度 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の設置</li> <li>・学校徴収金の徴収方法の現状把握、新たな方法の検討</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討結果に基づく庁内合意</li> <li>・スケジュール調整</li> <li>・予算要求</li> </ul> | システム開発等、新たな方法の実施に向けた準備 |       |

## 3 部活動における負担の軽減

部活動状況調査の実施（教）

| <p><b>【現状と方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指針改訂により、休養日の設定は増えている。</li> <li>・部活動指針改定に伴い、部活動運営による教員の多忙感に変化があったか検証する。</li> </ul> <p><b>【取組スケジュール】</b></p> |       |   |       |
|--|-------|---|-------|
| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度   | 令和4年度 |
| 部活動の多忙感に関する調査の実施   |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の分析から見えた課題の整理</li> <li>・課題への具体的な対応</li> </ul> |       |

複数顧問の配置、部活動指導員の活用（教・学）

| <p><b>【現状と方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数減少に伴い、教員数も減っている中、教員による複数顧問の維持が難しくなっている。</li> <li>・部活動指導員については、令和元年度から5校に5名を配置している。今後は、効果検証を行いつつ、順次増員の予定。</li> </ul> <p><b>【取組スケジュール】</b></p> |   |       |       |
|--|---|-------|-------|
| 令和元年度  | 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 指導員5校に配置効果検証、人材確保に向けた検討  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員配置による効果の検証</li> <li>・部活動指導員の順次増員</li> </ul> |       |       |

体育協会や文化団体等と大会・コンクール等の在り方について検討・見直しを実施(教・学)

【現状と方向性】

- ・実際の大会運営を教員が担っており、生徒の引率がない場合も大会役員として参加しなければならないなど、顧問となっている教員の負担は大きい。

【取組スケジュール】


| 令和元年度   | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度   |
|---|-------|--|---|
|  |       |  |  |

地域や外部団体との連携(教・学)

【現状と方向性】

- ・部活動指導が時間外勤務に占める割合は高く、本来の業務遂行に支障が出ている。地域スポーツクラブ等学校外での活動への移行について検討する。

【取組スケジュール】


| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|-------|
|  |       |       |       |

～ 「相模原市立中学校部活動指針 改訂版」の遵守(学)

【現状と方向性】

- ・平日は少なくとも1日、週末は少なくとも1日以上を休養日とする。
- ・練習試合等をやむを得ず週末に続けて活動した場合は、他の週末や祝日に休養日を振り替え、少なくとも週末、祝日は、合わせて月に4日以上休養日を確保する。
- ・夏季休業中の部活動の実施日数は大会を除いて17日間を超えないものとし、学校閉庁期間中は原則として活動しない。
- ・1日の活動時間は、平日2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度を上限とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効果的・効果的な活動を行う。

【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|-------|-------|-------|
|  |       |       |       |

#### 4 専門スタッフの拡充や職場環境の改善

##### 青少年教育カウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職員の増員（教）

###### 【現状と方向性】



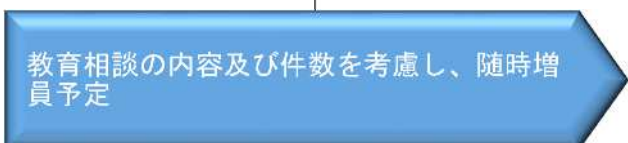
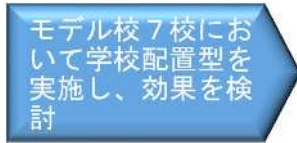
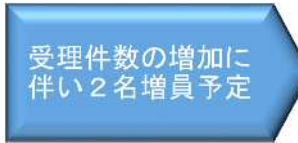

###### ○青少年教育カウンセラー（教育C）

- ・青少年教育カウンセラーが、学校出張相談で保護者や児童・生徒の相談に対応しているが、中学校で比較的規模が大きな学校や配置に配慮を要する学校について複数体制がとれていない状況にある。
- ・今後は教育相談内容や件数に応じて増員を行っていく予定。

###### ○スクールソーシャルワーカー（SSW）

- ・現在スクールソーシャルワーカーは、家庭環境に起因すると考える児童・生徒に対し、福祉側面から支援を行っている。
- ・スクールソーシャルワーカーの福祉的支援の役割は大きく、支援内容や受案件数に応じて、増員を検討する。

###### 【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度  | 令和4年度 |
|---|---|--|-------|
| <p>○教育C</p>   |   |   |       |
| <p>○SSW</p>  |  |  |       |

##### スクール・サポート・スタッフの増員（教）

###### 【現状と方向性】

- ・小・中学校へ60名のスクール・サポート・スタッフを配置。
- ・教員の負担軽減を図り、より児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、スクール・サポート・スタッフの配置を拡充する。

###### 【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度  | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|--|-------|-------|
|  |  |       |       |

### 観察実験アシスタントや図書整理員、臨時介助員等の非常勤職員の増員（教）

#### 【現状と方向性】

- ・子どもが抱える諸問題への支援や質が高く効率的な学びを行うため、専門性の高いスタッフを配置し、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保している。
- ・今後も必要に応じ、人員の配置や増員を検討する。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|-------|
|       |       |       |       |

### 教職員の定数や配置の検討（教）

#### 【現状と方向性】

- ・権限移譲に伴い平成29年度に市独自の教員配置基準を設定した。
- ・教員の負担感軽減のための教員定数や配置について検討する。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|-------|
|       |       |       |       |

### 長期休業中の学校閉庁日の増設（教）

#### 【現状と方向性】

- ・平成30年度より夏季休業期間において8月12日～15日までを学校閉庁日として設定している。
- ・今後は国の動向を見極めながら、学校閉庁日の増設について引き続き検討を行う。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|-------|
|       |       |       |       |



## 児童・生徒の出欠等に係る新たな連絡方法の検討と実施（教）

### 【現状と方向性】

- ・平成30年度から、研究校1校で、「e-ネットSAGAMI」のメール機能を活用した、生徒の出欠連絡システムの運用を行っている。
- ・出欠の集約や確認が手早くなり、教員の負担軽減につながった。一方、保護者からは、確実に出欠連絡が伝わったかどうか確認ができず、不安になった、という意見もあった。
- ・保護者からのメールに対して、自動で受け取りメールを返す機能の導入なども考慮し、引き続き導入に向けての実証、検討を行う。

### 【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度 |
|--|--|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動返信メールの機能追加の検討</li> <li>・改良システムの改善案の検討</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改良システムの構築、実証</li> <li>・システム運用ルールの作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改良システムの運用開始</li> <li>・改良システムの周知</li> </ul> |       |

## 職員室の働きやすい職場レイアウトの検討、配置転換の実施（学）

### 【現状と方向性】

- ・各小・中学校の職場レイアウトについては、教職員一人ひとりが働きやすいレイアウトとすることにより、職場環境の充実を図る。

### 【取組スケジュール】

| 令和元年度                   | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 働きやすい職場レイアウトの検討、配置転換の実施 |       |       |       |

## 5 学校におけるICT活用の推進

### 統合型校務支援システムの継続的なサポートや導入における効果検証（教）

#### 【現状と方向性】

- ・令和元年度から、全小・中学校全校で運用を開始した。
- ・令和3年度までの3年間は、システムの理解等を深め、安定したシステム運用が図られるよう、システムに関する研修や専用コールセンターの活用など支援体制の充実を図る。
- ・令和4年度については、令和3年度までの運用状況等から成果や課題を洗い出し、新しいサポート体制を構築し運用を図る。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度   |
|--|-------|-------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック別担当者会の開催</li> <li>・各種システム研修・追加機能等に関する導入研修の実施</li> <li>・専用コールセンターの活用</li> <li>・導入の効果測定</li> </ul> |       |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果測定を反映した運用</li> <li>・サポート体制の見直し</li> </ul> |

### 「e-ネットSAGAMI」や「校内LAN」における共有ファイル機能の活用による業務の効率化の推進（教）

#### 【現状と方向性】

- ・平成30年8月から、全教職員のPCに教材を共有できるフォルダを設定。
- ・令和元年度からは、訪問サポート研修を行い、共有フォルダ及び「e-ネットSAGAMI」共有キャビネットの活用理解を図る。
- ・令和3年度以降は、「e-ネットSAGAMI」のサーバ更新にあわせた仕様変更等を検討し、機能の見直しや追加を行っていく予定。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度  |
|---|-------|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務用PCの更新</li> <li>・校務用PC活用研修の実施</li> <li>・共有ファイル機能を活用した事例の収集及び紹介</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットSAGAMIサーバ更新</li> <li>・機能追加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットSAGAMIの追加機能の周知</li> </ul> |

## 統合型校務支援システムの機能の充実（教）

### 【現状と方向性】

- ・令和元年度から、統合型校務支援システムが全校に導入されて、指導要録や通知表（あゆみ）の作成ができるようになった。
- ・令和元年度以降も、個別の指導計画、保健管理機能、週案簿システムなど校務に必要な機能を、校務支援システムに追加していく予定。

### 【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度 |
|---|--|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校全校による運用開始</li> <li>・指導要録、通知表の書式</li> <li>・レイアウト変更</li> <li>・校務支援システム機能追加検討</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい指導要録、通知表書式での運用</li> <li>・週案簿システム、えがおネット機能、個別の指導計画作成機能の小学校追加</li> <li>・中学校へ導入検討</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの各機能の円滑な運用</li> <li>・小中学校間の自動データ連携</li> <li>・データ分析等、統合型校務支援システムのデータ活用に関する検討</li> </ul> |       |

## 6 調査・アンケート方法等の見直し

### 「e-ネットSAGAMI」のアンケート機能やアンケート集計ソフトウェア利用の徹底（教）

### 【現状と方向性】

- ・「e-ネットSAGAMI」のアンケート機能や平成30年度より校務用PCに導入したアンケート集計ソフトウェア活用することで、アンケート集計を自動化することができるようになった。
- ・令和2年度以降もシステムの周知に努める。

### 【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度  |
|--|-------|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート回答の電子化やアンケート集計の自動化の推進</li> <li>・中学校の校務用PC全台にアンケート集計ソフトウェアを導入</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットSAGAMIサーバ更新</li> <li>・アンケート機能の改善</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットSAGAMIの追加機能の周知</li> </ul> |

「市立小・中学校への通知・配布文書等に係る事務取扱要領」の全庁的な周知徹底（教）

【現状と方向性】

- ・「市立小・中学校への通知・配付文書等に係る事務取扱要領」について、全庁的な周知徹底を行い、学校に到達する文書を精査・一元化することで、学校現場の負担軽減を図る。

【取組スケジュール】

| 令和元年度                                       | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|-------|-------|-------|
| 「市立小・中学校への通知・配付文書等に係る事務取扱要領」について全庁的に周知徹底を行う |       |       |       |

就学奨励金に係る提出書類等の簡略化やマニュアルの作成（教）

【現状と方向性】

- ・「就学奨励金学校事務処理の手引き」を年度ごとに改訂している。
- ・修学旅行費などの実績報告に係る報告内容を見直し、令和2年度から提出書類を簡略化する。
- ・主担当者向けの「就学奨励金制度事務説明会」を令和元年度に開催し、事務手続の理解促進を図る。

【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|---|-------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・手引きの改訂</li> <li>・報告内容の見直し</li> <li>・事務説明会開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手引きの記載内容の見直し（年度ごとに実施）</li> <li>・提出書類の簡略化</li> </ul> |       |       |

教育委員会による就学奨励金の申請受付の実施（教）

【現状と方向性】

- ・申請については現在、保護者が学校に直接持参としており、学校が申請書受付、記載内容の確認、保護者への修正指示等を行っている。
- ・学校の事務負担軽減と併せて保護者の負担軽減を図るため、現状を見直し、令和2年度から受付方法等について新たな方策を講じる。

【取組スケジュール】

| 令和元年度  | 令和2年度                    | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--|--------------------------|-------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル実施・効果検証</li> <li>・実施案検討</li> <li>・庁内調整、事務説明会開催</li> </ul> | 令和2年度分から、教育委員会による申請受付を開始 |       |       |

## 7 会議及び研修の精査・精選等による効率化の推進

### 教職員の出席が必須となっている会議等の出席方法の精査（教）

#### 【現状と方向性】

- ・市や各地域が主催する会議やイベントへの参加により、本来取り組むべき業務にかかる時間が取れなくなっている。
- ・会議等への参加の回数・人数などを精査し見直しを実施する。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度                | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------------------|-------|-------|-------|
| 会議等への参加の回数・人数の見直しを実施 |       |       |       |

### 教員の研修回数や実施時期など研修の効果検証及び見直しの実施（教）

#### 【現状と方向性】

- ・ライフステージ研修の制度の見直し（実施年次の制約の変更等の検討）
- ・研修方法の見直し（ICTを利用した遠隔地研修等の検討）

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度   | 令和2年度                 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-----------------------|-------|-------|
| 研修の内容検討 | 研修を実施しながら効果検証し、見直しを実施 |       |       |

### 校内会議の在り方について、モデルを提示・実践（教・学）

#### 【現状と方向性】

- ・校内会議の在り方については、各小・中学校において工夫を行い時間削減に努めている。優良事例を教育委員会から発信し、各小・中学校において取組の共有を図ることで校内会議の効率化を図る。

#### 【取組スケジュール】

| 令和元年度                            | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------------------------------|-------|-------|-------|
| 教育委員会から校内会議の優良事例を発信し、校内会議の効率化を図る |       |       |       |